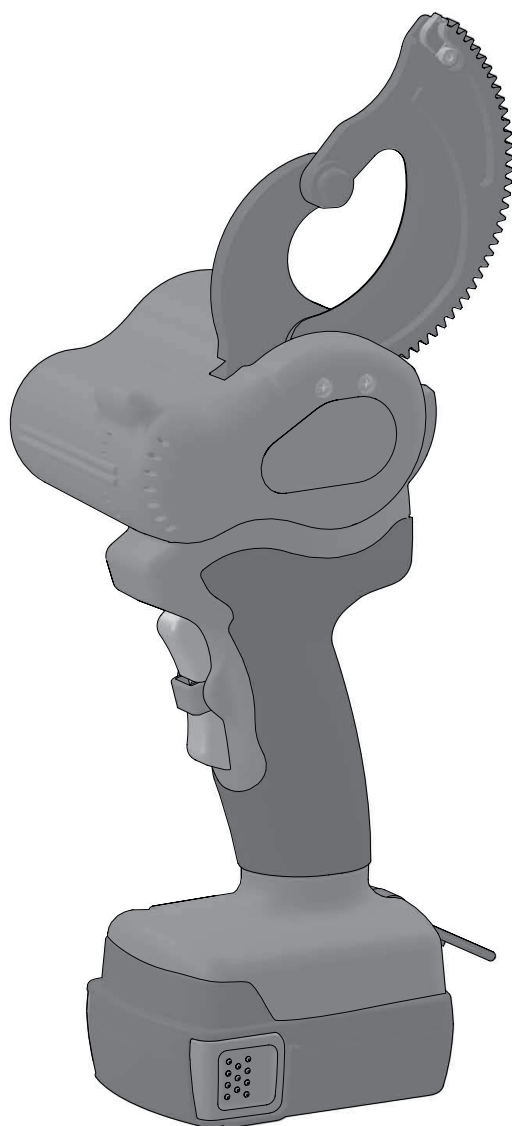




充電式ケーブルカッタ

取扱説明書

REC-Li33



- このたびはお買いあげいただきありがとうございました。
- この取扱説明書は本機の取り扱い、注意事項などについて説明してありますのでご使用前によくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

マクセルイズミ株式会社



目 次

安全上のご注意	1~4
使用上のご注意(充電式ケーブルカッタ)	5
使用上のご注意(バッテリーパック・専用充電器)	6
各部の名称および標準付属品・別売品	7
仕 様	8
最大切断能力および標準切断可能回数	8
使用方法	9~13
消耗部品の交換方法	13
保守・点検	14
修理のときは	14



安全上のご注意




ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。

誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	傷害を負う可能性及び物的損害のみが想定される内容です。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない内容です。
 実行しなければならない内容です。

 警告	
 禁止	●カッタ部を人に向けるような使用はしないでください。 ・破損し飛散する恐れがあります。
	●通電部には使用しないでください。 ・工具は絶縁仕様ではありません。通電箇所で使用すると感電の恐れがあります。 ・ぬれた手で電源プラグ、バッテリーパックに触れないでください。感電の恐れがあります。
	●バッテリーパックの端子間を短絡(ショート)させないでください。 ・バッテリーパックを単品で保管する場合は、短絡を防ぐため付属のターミナルカバーを付けてください。 ・釘袋等に入れ、短絡すると発煙、発火、破裂等の恐れがあります。
	●バッテリーパックを火中に投入しないでください。 破裂したり有害物質が出る恐れがあります。
	●不意な始動は避けてください。 スイッチに指をかけて運ばないでください。工具が作動してけがの恐れがあります。
 必ず守る	●専用の充電器やバッテリーパックを使用してください。 ・工具は専用のバッテリーパックを使用してください。 ・他の充電器でバッテリーパックを充電しないでください。 ・この取扱説明書に掲載しているバッテリーパック以外は充電しないでください。 破裂して事故やけがの原因となる恐れがあります。

警告



必ず守る

●正しく充電してください。

- ・この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し火災の恐れがあります。
- ・周囲の環境、バッテリーパック、充電器の温度が0℃未満あるいは40℃以上ではバッテリーパックを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・バッテリーパックは、換気のよい場所で充電してください。バッテリーパックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

●次の場合は、バッテリーパックを工具本体から抜いてください。

- ・使用しない、または、修理する場合。
- ・消耗部品を交換する場合。
- ・その他危険が予想される場合。工具が作動してけがの恐れがあります。

●指定の付属品を使用してください。

本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因となる恐れがあります。

●保護めがねを使用してください。

- ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ・切断時に細かな被切断物等が飛散する恐れがあります。

●作業場所の周囲状況も考慮してください。

- ・工具、充電器、バッテリーパックは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- ・作業場所は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
- ・可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。

注意



禁止

●**子供を近づけないでください。**

- ・ 作業員以外、工具や、充電器のコードに触れさせないでください。けがの恐れがあります。
- ・ 作業員以外、作業場所に近づけないでください。けがの恐れがあります。

●**無理して使用しないでください。**

- ・ 安全に能率よく作業するために、工具の能力に合った作業をしてください。能力以上でのご使用は事故の恐れがあります。
- ・ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。

●**無理な姿勢で作業をしないでください。**

常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。転倒してけがの恐れがあります。

●**充電器のコードを乱暴に扱わないでください**

- ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ・ コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電やショートして発火する恐れがあります。



必ず守る

●**作業場所は、いつもきれいに保ってください。**

ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。

●**使用しない場合は、きちんと保管してください。**

- ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
- ・ 工具やバッテリーパックを、温度が40℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。バッテリーパック劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

●**作業に合った工具を使用してください。**

指定された用途以外に使用しないでください。けがの恐れがあります。

●**きちんとした服装で作業してください。**

- ・ だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。作動部、回転部等に巻き込まれる恐れがあります。
- ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの恐れがあります。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。作動部、回転部等に巻き込まれる恐れがあります。

注意



必ず守る

●油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・ 工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
- ・ 常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。

●屋外使用に合った延長コードを使用してください。

屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

●工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・ 消耗部品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの恐れがあります。
- ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの代理店または弊社営業所に修理を依頼してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの恐れがあります。

●損傷した部品がないか点検してください。




- ・ 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 部品の破損、取付状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- ・ 部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの代理店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- ・ スイッチで始動および停止操作の出来ない工具は、使用しないでください。異常動作してけがをする恐れがあります。

●工具の修理は、代理店または弊社営業所に依頼してください。

- ・ サービスマン以外の方は本体、充電器、バッテリーパックを分解したり、修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作してけがをする恐れがあります。
- ・ 工具が熱くなったり異常に気付いたときは点検修理に出してください。
- ・ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い求めの代理店または弊社営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

使用上のご注意（充電式ケーブルカッタ）



先に「安全上のご注意」を記載しましたが本工具を使用する際、さらに次に記載する注意事項を守ってください。

 注意	
 禁止	●カッタ部を人に向けないでください。 破損し飛散する恐れがあります。
	●最大切断能力以上の被切断物の切断は絶対にしないでください。 破損などの原因となりますので十分に注意してください。(P.8参照)
	●可動刃・固定刃の切刃部分には手を触れないようにしてください。 けがの恐れがあります。
	●活線（通電中の電線ケーブル）の切断は絶対に行わないでください。
	●落下等の過度の衝撃を与えないでください。 小型軽量にするため、内部構造が精密に造られており衝撃により正常に作動しなくなることがあります。
	●分解・改造をしないでください。
	●雨中で使用しないでください。 刃のサビによる切味の低下や故障につながります。
	●余長切断を50mm以下で行わないでください。 CCPケーブル等の端末の余長切断を極端に短く行くと、ケーブル介在物等の噛み込みが生じる場合があります。
 必ず守る	●切断動力方向以外への無理な荷重をかけないでください。 切断は被切断物に対し垂直方向に行ってください。カッタ刃の破損の原因となります。
	●本体を確実に保持してください。 けがの原因になります。
	●高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。 材料や本体を落としたとき等、事故の原因になります。
	●異常がないことを確認してから使用してください。 カッタ部にひび、割れなどがあると、カッタ部が破損し、けがの原因となります。
	●休ませながら使用してください。 休止無しの連続切断を行うと、モータ温度の上昇状態が続き、モータ・バッテリーパックが加熱し、故障の原因となります。時々休ませながら使用してください。
	●周囲温度が低い（10℃以下）の場合、電線ケーブルの硬化により、切断能力内の電線ケーブルでも切断ができない場合があります。
	●作業終了ごとに必ずエア等で掃除してください。 本体の（可動刃駆動）開口部から内部に切クズ、ゴミ等が入らないように注意してください。

使用上のご注意 (バッテリーパック・専用充電器)

(バッテリーパック 使用上のご注意)



注意

 禁止	●端子を絶対ショートさせないでください。 火災・事故の原因となります。
	●分解したり、改造はしないでください。
	●火の中への投入や、一般ゴミとしての廃棄はしないでください。
	●投げたり、落としたりしないでください。
	●高温 (40℃以上) の所へ長時間放置しないでください。
	●金属端子部に腐食が現れた場合は使用しないでください。
 必ず守る	●速やかに充電してください。 リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。本製品を使用中、正・逆転スイッチを押した状態でも電池残量が少なくなるとモータが停止する場合がありますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。この時は速やかに充電してください。
	●使用しない時は、ターミナルカバーを取り付けてください。 バッテリーパックの金属端子部にゴミやホコリが付着していると接触不良となり故障の原因となります。

(専用充電器 使用上のご注意)

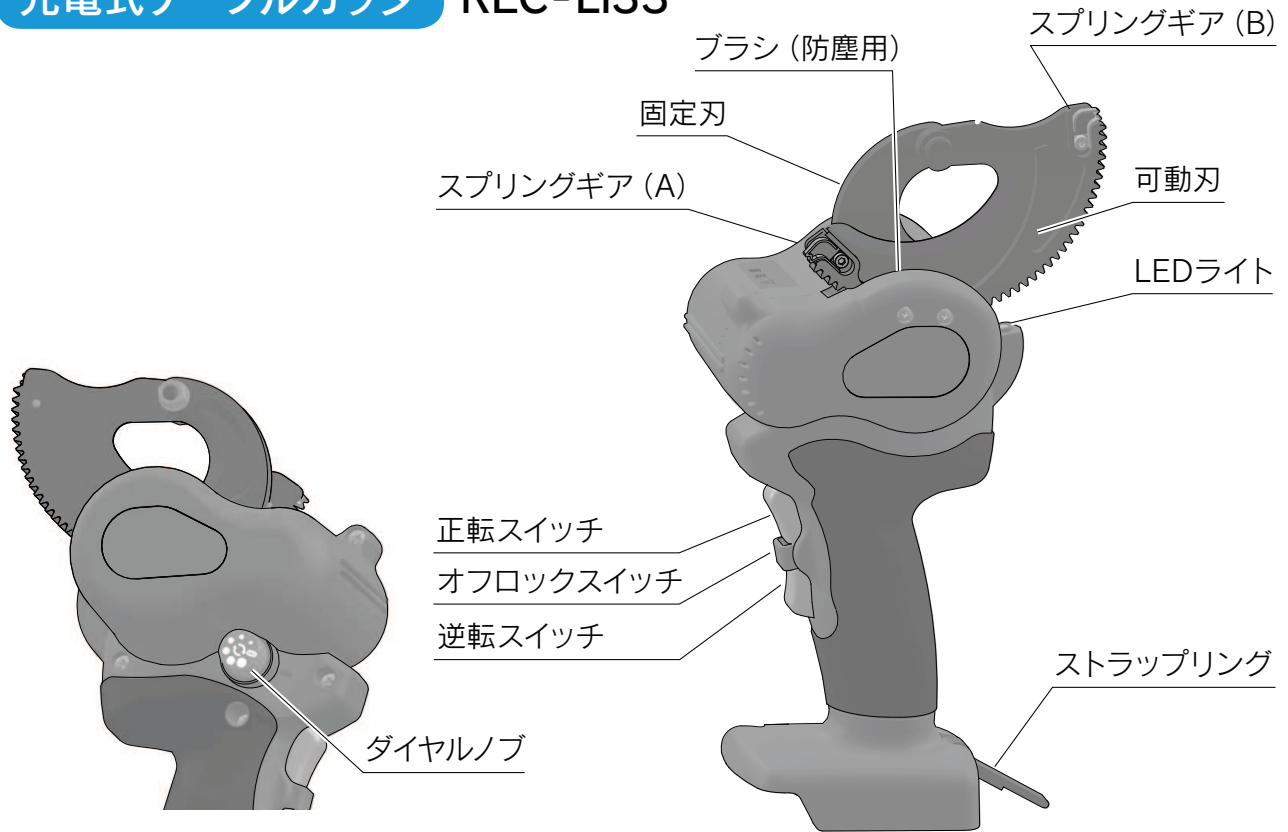
本充電器は、表示ランプ (単灯多色LED) により充電状態をP.10の表に示すように表示します。

注意

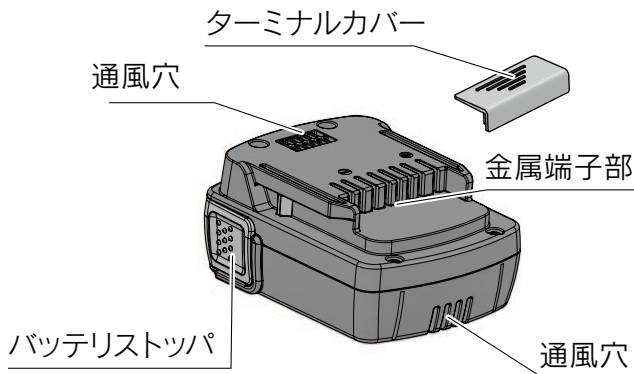
 禁止	●発電機での充電は行わないでください。 故障の原因となります。
	●雨中では使用しないでください。 感電、発煙の恐れがあります。
	●充電器の金属端子部のゴミやホコリが着かないようにしてください。 ゴミやホコリが付着していると接触不良となり故障の原因となります。
	●金属端子部に腐食が現れた場合は使用しないでください。
 必ず守る	●修理は、お買い求めの代理店または弊社営業所にお申し付けください。 充電器の電源を入れても表示ランプが赤で点滅しない場合は、修理が必要です。そのまま充電されますと、発煙、発火の恐れがあります。

各部の名称および標準付属品・別売品

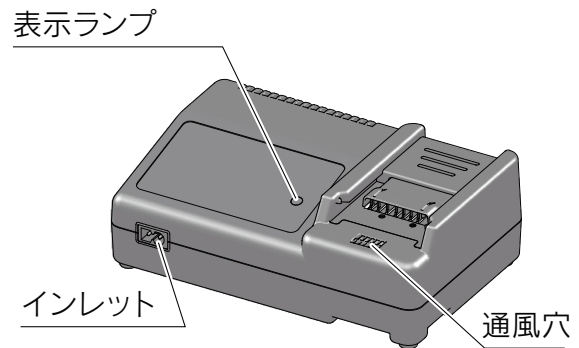
充電式ケーブルカッタ REC-Li33



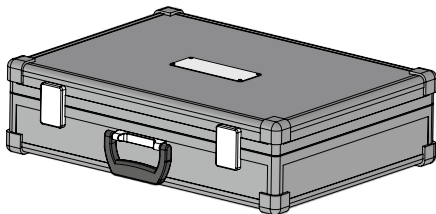
バッテリーパック BP-1420LN



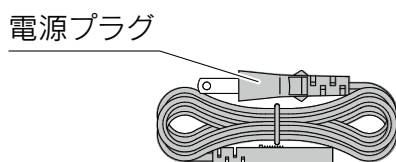
充電器 CH-25LNW



アルミケース



電源コード



別売品

肩かけベルト



ストラップリングに取り付けてご使用になれます

仕様／最大切断能力および標準切断可能回数

充電式ケーブルカッタ REC-Li33


切断可能最大径	φ33mm
電動機	14.4V DCモータ
外形寸法	100 (長さ) × 310 (高さ) × 125 (幅)
質量	1.55kg

バッテリーパック BP-1420LN

電池名称	リチウムイオン電池
公称電圧	DC14.4V
定格容量	2.0Ah
充電時間	80%充電完了: 35分 100%充電完了: 45分
質量	0.36kg

充電器 CH-25LNW

入力電圧	AC100V~240V 50/60Hz
入力容量	1.45A (100V) -0.65A (240V)
充電電圧	10.8~28.8V
外形寸法	230 (長さ) × 80 (高さ) × 145 (幅)
質量	1.6kg

 注: バッテリーパックBP-1420LNは充電器CH-25LNW以外の充電器で充電することはできません。

1回の満充電で可能な切断回数の目安

標準切断可能回数は、充電の条件、バッテリー性能の経時変化および刃の切味により変わることもありますので目安としてください。

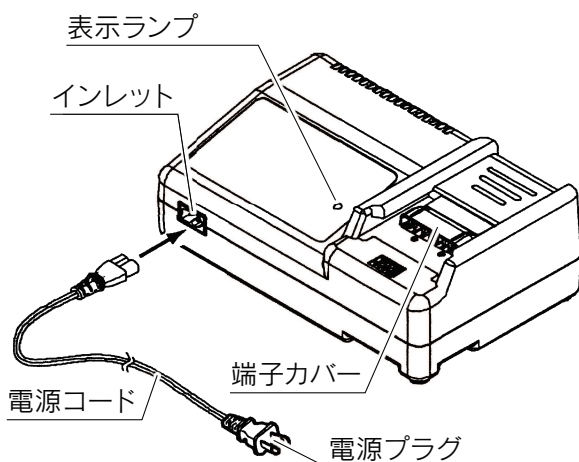
切断回数が初期の状態の半分程度となった場合は、電池の経済寿命ですから新しいバッテリーパックをお買い求めください。

バッテリー性能の経時変化、電線の種類、周囲の温度により多少変動しますので、スペアバッテリーのないときは早めに充電してください。(途中で止まっても新しいバッテリーパックと交換すれば工具が作動します。)

最大切断能力 (仕上り外径)【より合わせ外径mm】			切断可能回数
架橋ポリエチレン絶縁ビニルシース電力ケーブル	600V-CV	325mm ² 単心 (φ31)	100回
		60mm ² 3心 (φ31)	135回
	6600V-CV	200mm ² 単心 (φ32)	140回
単心より合わせ形架橋ポリエチレン絶縁ビニルシース電力ケーブル	600V-CVT	60mm ² 【φ33】	165回
ビニル絶縁電線	600V-IV	325mm ² 単心 (φ29)	115回
ビニル絶縁ビニルシースケーブル	600V-VVR	60mm ² 3心 (φ33)	160回

バッテリーパックに充電する

1 充電器のインレットに電源コードを差し込む



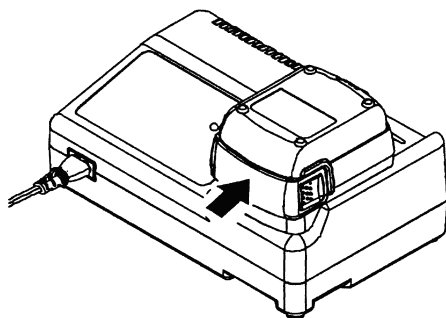
2 充電器の電源プラグをコンセントに差し込む

表示ランプが赤色で約1秒間隔で点滅
【充電可能モード】

3 バッテリーパックを充電器に挿入する

充電器の端子カバーはバッテリーパック抜き差しにあわせて開閉し、表示ランプが緑色で点灯
【急速充電中】

バッテリーパックの状態や周囲温度の状況により、充電器内蔵のファンが動作します。送風音がしますが、故障ではありません。



4 表示ランプが緑色で早点滅

バッテリー容量の約80%まで充電が完了した時点で、表示ランプが緑色で約0.3秒間隔で早点滅
【80%充電完了】

5 表示ランプがオレンジで点灯

バッテリー容量の100%まで充電が完了すると、表示ランプがオレンジで点灯

【100%充電完了】

標準充電時間 80%充電完了:約35分
100%充電完了:約45分

6 表示ランプが赤で点灯

【充電待機中】

作業(放電)直後などの温度の高いバッテリーパックを挿入した場合

低温(約0℃以下)になっているバッテリーパックを挿入した場合

バッテリーパックの温度が適温になると自動的に充電を開始し、表示ランプが緑色の点灯に替わります。

0℃以下の環境では、ご使用になれませんのでご注意ください。

※約10℃以下のバッテリーパックを充電する場合、バッテリーパックを保護するために、充電電流を少なくした保護充電モードで充電が行われます。そのため通常の充電より充電時間が長くなります。充電されることによって、バッテリーパック内部の温度が約15℃以上に上昇した場合、通常の充電に自動的に切り替わります。また、過放電されているバッテリーパックを充電する際にも、バッテリーパックを保護するために、保護充電モードになります。

7 表示ランプが赤色で早点滅(約0.3秒間隔)

【充電不可】

①充電待機の状態のまま、約90分以上経過
→バッテリーパックを10℃~40℃の温度にして、充電器を10℃~40℃の環境で使用する。








②バッテリーパックの異常(故障、寿命、端子汚れなど)
→バッテリーパックを充電器から取り外し、端子に汚れなどの付着物があれば取り除く。

③充電器の異常(故障、端子汚れなど)
→バッテリーパックを充電器から取り外し、充電器の電源プラグを一度コンセントから抜き、再度、充電の手順で動作する。



注:正しい充電をしても、バッテリーパックの使用時間が著しく低下してきたときは、バッテリーパックの経済寿命とお考えいただき、新しいバッテリーパックと交換してください。

表示ランプの表示

表示状態	モード種別	内 容
赤点滅 (1秒間隔) 	充電可能モード	充電器の電源が入りました。 充電できます。
緑点灯 	急速充電モード	充電中です。
緑早点滅 (0.3秒間隔) 	80%充電完了 充電モード	バッテリーパック容量80%の充電が完了しました。 充電継続中です。
オレンジ点灯 	100%充電完了	充電完了しました。
緑点滅 (1秒間隔) 	保護充電モード	充電電流を少なくして充電中です。 高温または低温のバッテリーパックの充電中。 または過放電されたバッテリーパックの充電中。
赤点灯 	充電待機モード	充電開始を保留しています。 バッテリーパックの温度が充電可能温度外。 バッテリーパックの温度が充電可能温度に なったら自動的に充電開始されます。 ただし、90分以上このモードが継続された場合 充電不可モードに移行します。
赤早点滅 (0.3秒間隔) 	充電不可モード	充電できません。 充電待機モードで90分以上経過しました。 またはバッテリーパックが充電器に異常があります。

リチウムイオン電池の上手な使い方

- ・リチウムイオン電池を長持ちさせるために、工具を使用しない場合は、周囲温度 10℃～30℃の風通しの良い場所で保管してください。
- ・工具の切断能力が弱くなってきたと感じたら、使用を止め、充電してください。

使用方法

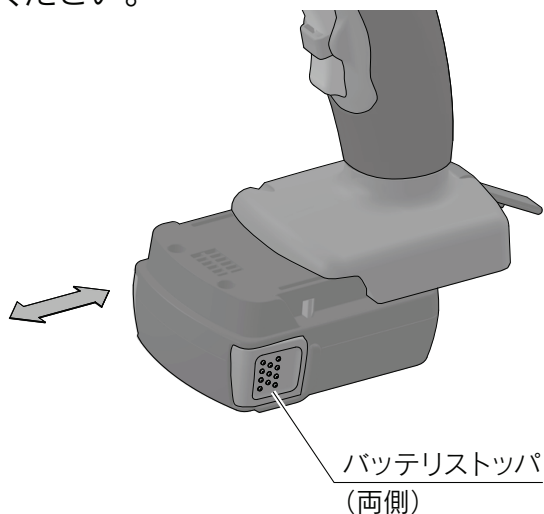
バッテリーパックの着脱方法

1 バッテリーパックを 取り外す

バッテリーストッパ両側を押しながら引き抜いてください。

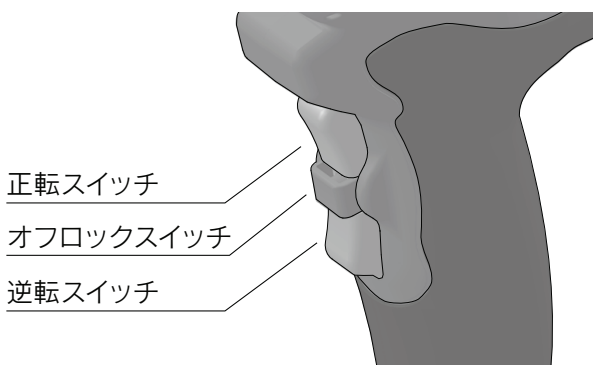
2 バッテリーパックを 装着する

装着は本機の溝に合わせながらスライドさせ「カチッ」と音がするまで挿入してください。



スイッチ操作方法

誤作動防止のため、ツーアクションスイッチとなっておりますので、正転スイッチ（切断回転）も逆転スイッチ（戻し回転）も、まず中央のオフロックスイッチを完全に押して（その状態のまま）正・逆転スイッチを押してください。



LEDライト

作業補助灯LED

カッタ刃周辺を照らすLEDライトが付いています。

正・逆転スイッチをオンで点灯し、スイッチオフ約10秒で消灯します。

バッテリー低電圧警告

リチウムイオン電池の残存容量が少なくなると正転スイッチオン時に照射用LEDが5回点滅し警告表示します。充電またはスペアバッテリーに交換してください。

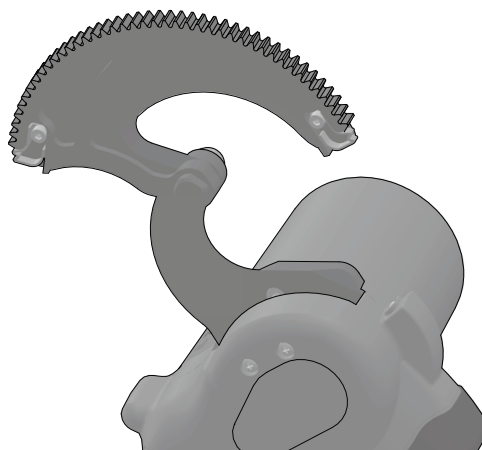


注：LEDライトの光を直接のぞき込んだり目に当てないでください。LEDライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

切断作業

1 可動刃を ニュートラル状態にする

正・逆転スイッチを操作し可動刃をニュートラル状態にします。



2 ダイアルノブでオートリバースの有効/無効を設定する

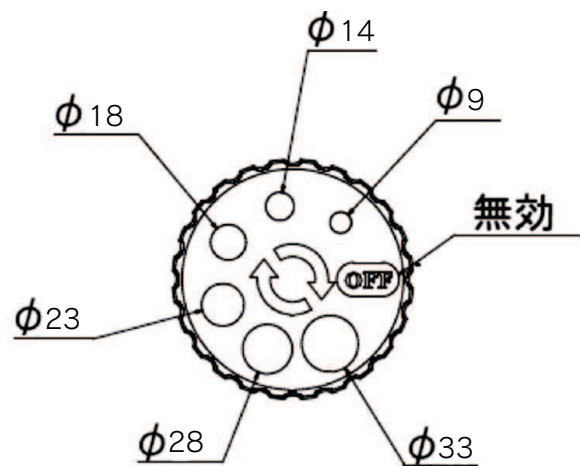
オートリバース有効時は任意の位置、無効時はOFFの位置にダイヤルノブを調整してください。



オートリバース機能について

オートリバース有効時はケーブル切断後モータがブレーキ停止し正転スイッチを離すとダイヤルノブで設定した口開きまで自動反転します。

口開きは6段階 ($\phi 9 \sim \phi 33$) で調整可能です。(口開量は目安です。)



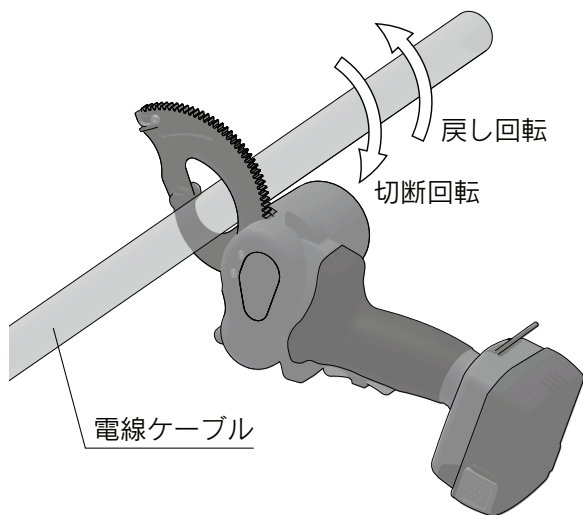
⚠ 注：切断途中で正転スイッチを離すとオートリバースが作動しません。

⚠ 注：IV22mm², CV14mm²以下の細物電線ではオートリバースが作動しません。

⚠ 注：バッテリーの電池電圧状態により口開き径が若干変わります。

3 可動刃開口部へ電線ケーブルを取り込む

固定刃側に切断する電線ケーブルを取り込み、可動刃開口部へセットします。この際、可動刃を軽く押し込みますとスムーズに作動します。



4 正転スイッチを操作し電線ケーブルを切断する

切断終了まで正転スイッチは押し続けてください。

5 切断後ゴミを取り除く

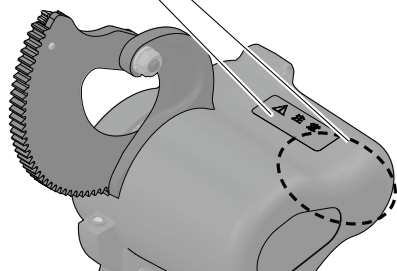
切断後は、刃部に付着している切り屑やゴミをきれいに取り除いてください。

使用方法

注：過電流保護機能 仕様外ケーブルの切断により必要以上の負荷電流が流れた場合、モータ保護のため過電流保護装置が働き、モータが停止します。停止状態からの復帰には、正転スイッチをオフすることにより再作動可能です。

注：連続作業について モータ保護のため、高温注意銘板周辺が熱くなったら作業を中断して工具本体を充分冷やしてからお使いください。連続切断する際は、スペアバッテリーの交換時に工具本体を風通しの良い涼しい場所で50分以上休ませてからご使用ください。スペアバッテリーの交換後すぐに作業を続けるとモータの温度が高くなりモータ焼損の原因になります。

高温注意銘板 高温注意銘板周辺



注：切断能力内の電線ケーブルであっても周囲温度（低温時）や、電線の長さ・曲がり具合等の影響により過電流保護機能が作動する場合があります。

注：本製品を使用中、正・逆転スイッチを押した状態でも電池残量が少なくなるとモータが停止する場合がありますが、これはバッテリーパックの電池保護機能によるものであり故障ではありません。この場合は速やかに充電してください。

注：LEDライトが6回以上点滅した場合は回路基板の異状表示です。お買上げの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

消耗部品の交換方法

刃部（可動刃・固定刃）、ブラシおよびスプリングギアは消耗部品です。刃に割れ、カケが生じた場合は、新品と交換してください。刃部の交換につきましては販売代理店もしくは最寄りの弊社営業所へご依頼ください。スプリングギアの交換をご自分でされる場合は、下記手順にて行ってください。

注：スプリングギア交換時は必ず本体からバッテリーパックを取りはずした状態で行ってください。

注：スプリングギアが破損した場合は、速やかに交換してください。破損したまま使用を続けると、ギア破損の原因となります。

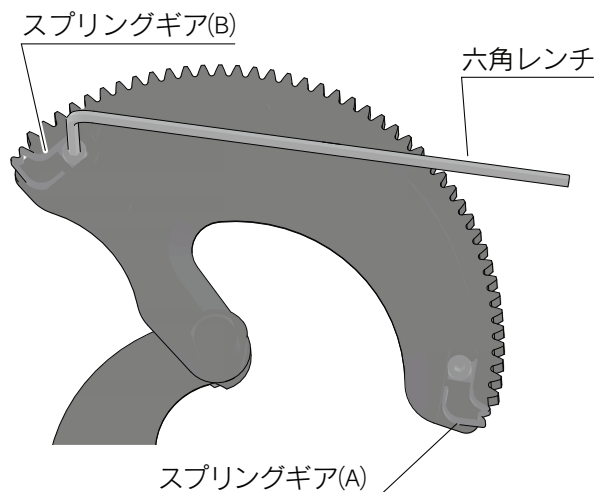
スプリングギア交換方法

1 スプリングギアを取り外す

六角レンチにて六角穴付ボルトM3×3を外し、スプリングギアを取り外します。

2 スプリングギアを取り付ける

新品のスプリングギアを取り付け、ボルトを確実に締めつけます。



保守・点検

- 1 日常の保守・点検を怠りますと、工具の故障原因になりますので注意してください。
- 2 工具の円滑な作動および錆の発生を防ぐため、湿気をさけて保管し、摺動する部分には時々機械油を注油してください。
- 3 工具が通常使用（作動10,000回以上・カッタ部は1,000回以上）で破損した場合は、耐久限度ですので破損部品のみを交換しての再使用はおやめください。
- 4 樹脂部分がよごれた場合は、せっけん水をやわらかい布につけふきとってください。
- 5 バッテリーパックを単品で保管する場合は、短絡を防ぐため付属のターミナルカバーを付けてください。
- 6 安全点検のため、2年に1回の目安でメーカーメンテナンスにお出しいただくことをおすすめします（有償）。詳しくは、お買上げの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

修理のときは

この工具本体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または弊社営業所にご依頼ください。

工具本体には、分解の形跡を判別するための保証シールが貼り付けてあります。このシールをはがすと保証期間中であっても有償修理となる場合がありますのでご注意ください。

また、バッテリーパックが使用不能の状態となり、廃棄処分される場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所にご持参いただくかお問い合わせください。

その他、別売品ご購入の場合やカタログの請求、取扱い上でお困りの点等がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

～バッテリーパックはリサイクルへ～

弊社はバッテリーパックのリサイクルを推進しております。

ご使用済みのバッテリーパックは工具本体から取り外し、短絡（ショート）防止のため端子部に絶縁テープを貼ってお買い求めの販売店または弊社営業所へお出してください。



リチウムイオン電池は
リサイクルへ

マクセルイズミ株式会社

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意事項に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無料で修理をさせていただきます。
 - ①無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げ販売店に商品と**IZUMI**保証書をご持参いただきお申しつけください。
 - ②お買い上げ販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの弊社営業所にご連絡ください。
2. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ②お買い上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - ③火災、地震、水害、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - ④過負荷及び誤圧による故障または損傷。
 - ⑤工場でのライン作業等の連続長時間使用による故障及び損傷。
 - ⑥本保証書のご提示がない場合。
 - ⑦本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. 本保証書は、日本国内において有効です。
4. 本保証書は再発行しません。

保証書



本書は、お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合に本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は、裏面をご参照ください。

型式 (商品名)		REC-Li33	
お客様	お名前	参照用	
	ご住所 〒		
	☎ () -		
お買い上げ日		保証期間	
年	月	日	お買い上げ日より 6ヶ月間
取扱販売店名、住所、電話番号			
サービス履歴	年月日	サービス内容	担当者
	年 月 日		
	年 月 日		

マクセルイズミ株式会社

本社 〒399-8721 長野県松本市大字笹賀3039番地 ☎0263(58)5757(代) FAX0263(86)1002
 東京営業所 〒151-8527 東京都渋谷区元代々木町30-13 ☎03(6891)2111(代) FAX03(6891)1700
 大阪営業所 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-46(奥内第5ビル) ☎06(6533)2654(代) FAX06(6541)6298
 名古屋営業所 〒465-0034 愛知県名古屋市名東区高柳町207番地 ☎052(775)5388(代) FAX052(776)2163
 福岡営業所 〒812-0008 福岡市博多区東光2丁目22-30 ☎092(483)5700(代) FAX092(483)5704
 仙台営業所 〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井一丁目21番地の8 ☎022(287)1761(代) FAX022(287)1768



マクセルイズミ株式会社

本 社 〒399-8721 長野県松本市大字笹賀3039番地 ☎0263(58)5757(代) FAX0263(86)1002
東京営業所 〒151-8527 東京都渋谷区元代々木町30-13 ☎03(6891)2111(代) FAX03(6891)1700
大阪営業所 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-46(奥内第5ビル) ☎06(6533)2654(代) FAX06(6541)6298
名古屋営業所 〒465-0034 愛知県名古屋市名東区高柳町207番地 ☎052(775)5388(代) FAX052(776)2163
福岡営業所 〒812-0008 福岡市博多区東光2丁目22-30 ☎092(483)5700(代) FAX092(483)5704
仙台営業所 〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井一丁目21番地の8 ☎022(287)1761(代) FAX022(287)1768